# 動物大好き！だから…、

「いつまでも一緒に暮らそうよ」

動物が大好きなわたしたち3人は、神奈川県動物保護センターを取材しました。動物保護センターに行くのは初めてだったり、久しぶりだったりで、みんな楽しみにしていました。

豆記者
大山 遥生　牧野 里香　福島 美友

## 動物保護センターってどんなとこ？

土屋にある動物保護センターは、迷子になってしまった犬や猫が連れてこられるところです。ほかにも、いろいろな理由でここにやってくる動物がいるそうです。中には、飼い主に捨てられたり、面倒を見切れなくなって連れてこられたりする犬や猫もいるそうです。

この日、動物保護センターには、わたしたちのほかにも、「小動物飼育体験教室」に参加している小学生や、動物保護センターの仕事を体験している高校生の人たちが来ていました。みんな動物が大好きなんだろうなぁ。

## 子犬の世話をしたよ

いよいよ取材スタートです。今日は動物保護センターのいろいろな仕事を体験しながら、取材をしていきます。初めに、もうすぐ新しい飼い主にもらわれていく子犬にあげるえさを作りました。ドッグフードに、犬のおなかで寄生虫が増えないように、特別な薬を混ぜました。

いっぱい食べろよ

子犬たちをケージから出して、えさをあげると、パクパク食べてとってもかわいい！　でも、中にはまったく食べようとしない子犬もいます。「おなかがすいていないのかな？　おいしくないのかな？」と思ったら、この犬はまだここへ来たばかりで、新しい環境に慣れていないのだそうです。ガンバレ！　子犬くん。

清潔にしなきゃね

## 病気から守るぞ！

子犬たちがえさを食べている間に、ケージの消毒をしました。それから、使い終わった食器を洗って、滅菌機という機械で消毒しました。121度の高温で30分間置いておくと、動物に悪さをする菌が死んでしまうそうです。動物たちが病気にならないように、とても気を使っているのがよく分かりました。

あっ、寄生虫が見える！

次に、手術室に連れて行ってもらいました。ここでは、もらわれていく犬に子どもができなくなる手術をしているそうです。手術は動物保護センターの人たちがします。センターの人たちはみんな獣医さんなんだって。知らなかった。

かわいいでしょ！

## 動物を捨てるなんて…

最後に、捨てられたり迷子になったりした犬がいる部屋を見せてもらいました。まだ、連れてこられたばかりの犬は、キラキラとした目でわたしたちを見て、しっぽを振ってくれました。でも、長くここにいる犬は、悲しく、寂しそうな目をしていました。

ここの犬たちが、飼い主を待つことができる時間は、たったの5日間だそうです。中には、運よく新しい飼い主が見つかって幸せに暮らしている犬もいるそうですが、多くの犬は、このまま5日が過ぎて処分されてしまうそうです。処分とは、犬を殺してしまうことです。1年間に犬は400匹、猫は2600匹も処分されてしまうそうです。そんな話を聞いて、みんなとても悲しい気持ちになりました。

動物も友達なんだよ

## 幸せになってね

動物保護センターの人たちだって、みんな動物が大好きです。だから、本当は犬や猫を処分するのは、とてもつらいことなんだと思います。

これを読んでいるみんなも、動物を飼いたいと思うのなら、本当にずーっと飼えるのか、飼う前によく考えてください。わたしたちは、犬や猫を捨ててしまうような大人には、絶対にならないと心に誓いました。

今日、わたしたちが世話をした子犬たちが、新しい飼い主のところで幸せになれますように。